

第164回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成22年12月9日(木) 16:30~17:30

2 開催場所 エフエム栃木 本社3階 第2スタジオ

3 委員の出席 委員総数 8人
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 青木 敬信(委員長)
片岡 真理
古磯 勝子
片山 貴之
島田 恭子

(2) 欠席委員の氏名 早川 富美子(副委員長)
岡田 好弘
森内 律子

(3) 放送事業者側出席者 佐藤 望(放送部部长)
古寺 雄史(放送部主任)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

11月21日に放送した「コスモアースコンシャスアクト・クリーンキャンペーン in 塩原温泉」について、試聴と意見交換を行った。

事業者 この番組は、11月7日・日曜日、塩原温泉でおこなった

「コスモアースコンシャスアクト・クリーン・キャンペーン in 塩原温泉」の様子を編集した特別番組です。

今回で10回目となる「アースコンシャスアクト」は、提供社のコスモ石油と、FM栃木も加盟するJFN各局が、「私たち一人一人が、地球のために出来ることから行動を起こそう」という呼びかけのもと、清掃活動などの環境活動を全国統一のキャンペーンとして行うものです。

今年のクリーンキャンペーンは、朝のワイド番組B-UPで、4月にリポーターデビューした黒後聡佑をパーソナリティとして、初起用しました。

【 番 組 の 試 聴 】

委員 番組全体を通して、当日の雰囲気を感じられ、参加者の様子が目にうかんできた。

委員 委員清掃場所の地形や、その場所で捨てられているゴミの説明から話をはじめたり、清掃中の子供の率直な感想なども織り込まれていて、番組の構成がしっかりしていた。

委員 番組から、たくさんの子供たちが参加し、楽しみながら拾っている様子が伝わった。ゴミ拾いを楽しみつつも、同時に「ゴミをこのように捨ててはいけない」ことを実体験で悟る経験になったはずであり、何重にも価値のある内容であると感じた。

委員 「自分の庭なら捨てないだろう」という参加者の感想に共感した。

委員 番組としてのテーマは軽くないと思うが、番組の雰囲気は明るくしなければリスナーにも聞いてもらえない現実があるのであろう。ただ、現状は不法投棄などがあり、重いテーマとして捉えるのであれば構成等でも工夫が必要かもしれない。今回の番組を通じてリスナーへ問題提起ができたのではないか？

委員 こうした活動を番組として放送することで、これまで無意識にゴミを捨ててしまった経験のある人にも、行動を考え直すきっかけになったはずである。

委員 社会貢献や啓蒙活動の面からもよい活動であり、それに問題提起をあわせて、放送したことに意義を感じる。放送メディア自体がこういった活動に積極的に参加することで、多くの人々に意識を喚起できる。今後も毎年、続けていってほしいと思った。

事業者 毎年のように参加している人も多く、この数年は特に、家族全員で参加する姿も目立つ。今後もこの活動を続けていきたい。

委員 黒後さんの誠実な人柄を感じられ、とても好感がもてた。多くのゴミの捨てられている現場に直面した黒後さんならではの、本気が熱く語られていて、とても共感できた。

委員 番組のパーソナリティとして、黒後さんは、全体的にまだまだ経験不足であり技術的な面もあり、聞いていても発音なども気になる点がある。これからのいろいろと経験を積んで、成長を期待したい。

(以上)

(3) その他
なし

(4) 次回開催日程について
次回の開催を1月6日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 12月26日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし